

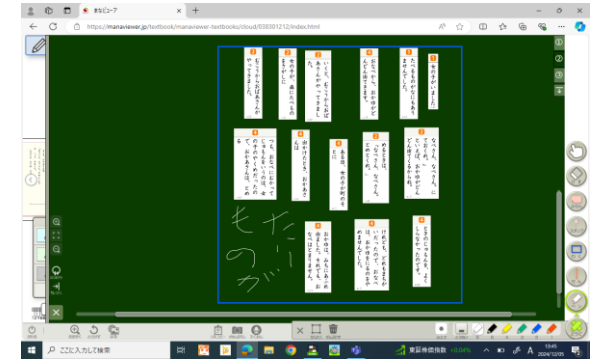
【取組内容】「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのデジタル教科書の活用

「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

【「個別最適な学び」の視点から】

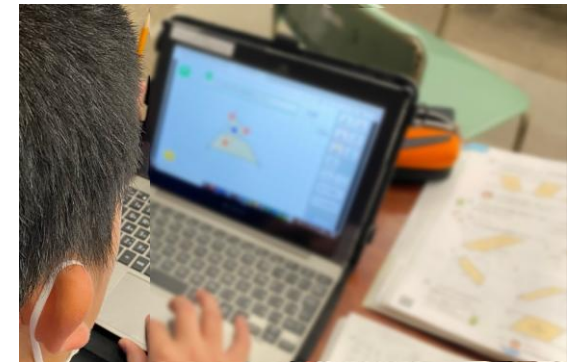
●マイ黒板機能の活用

国語科の学習において、本文中の文章の切り取りや付箋への書き込み等を何度でも行うことができるため、児童一人一人が文章にじっくりと向き合い、自分のペースで自己調整をしながら学習に取り組む姿が見られました。間違えても簡単に直すことができるため、間違えることを恐れないで学習に取り組むことができました。



●デジタルコンテンツの活用

算数科の学習において、動画コンテンツを活用したことで、何度も繰り返し必要な部分を確認することができ、自分のペースで学習を進めることができました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

朝日町立さみさと小学校

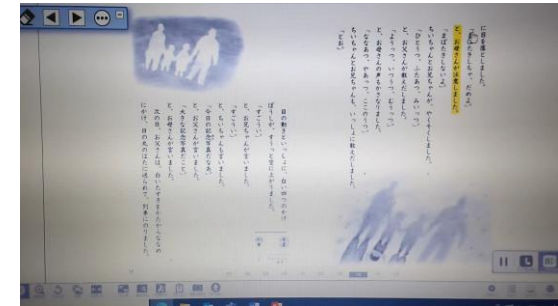
【取組内容】 「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのデジタル教科書の活用

「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

【「個別最適な学び」の視点から】

●音声読み上げ機能の活用

特別な支援を必要とする児童への手立て・ツールとして、音声読み上げ機能の活用が効果的でした。児童が自分で聞き取りやすい速さを選ぶことにより、学習に集中することができました。自分のペースで何度も聞き直すことができ、個に応じた学習を進めることにつながりました。また、文字を読むことが苦手で読み取りに時間を要する児童も、デジタル教科書の音声を頼りにして文章から言葉を抜き出すことができ、文字を書くことが苦手で負担に感じる児童も、必要な語句を本文から抜き出すことで、文字を書く負担が軽減され、学習目標を達成して学習意欲を高めることができました。



【「協働的な学び」の視点から】

●互いに学び合う活動での活用

学習者用デジタル教科書と電子黒板等のモニターを併用したことは、教師から児童に提示する際も、児童が他の児童と共有する際も、相手に自分の考えを伝える方法として効果的でした。新しい発見や理解が広まったり深まったりするきっかけとなり、子供同士の意見の交流が活発化し、協働的な学びの推進につながりました。

